

公益社団法人日本クラフトデザイン協会

事業評価委員会 議事録（親と子のふれあい交流活動）

日 時：平成30年3月3日（土） 13:30～17:00

※第2回定例理事会の議題として審議された

場 所：日本クラフトデザイン協会事務局（東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-15-408）

出席者：（理事）磯谷晴弘 菅野靖 林範親 志賀英二 諏訪薫 内藤広宣 松田光二

吉谷美世子

（監事）岡本昌子 露木清勝

●実施内容について

- ・担当理事から事業について報告がなされた。

今年度は夏期は柿渋染めを、冬期は天然木によるお箸制作のワークショップを実施した。クラフト文化をワークショップとレクチャーを通じて感じてもらうことを目的とした。

■夏期：「柿渋？ 柿渋染めでエコバッグを作ろう」

実施日：平成29年8月7日（月）

会 場：JXビル1F「3×3Lab Future」

参加人数：58名

■冬期：「けずって みがいて マイおはし」

実施日：平成30年1月13日（土）

会 場：インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター
ミッドタウン・タワー5F

参加人数：91名

■第57回日本クラフト展に於ける広報展示

平成30年1月6日（土）～16日（日）

会 場：東京ミッドタウン・デザインハブ 第57回日本クラフト展会場

- ・夏期、冬期のワークショップ共に参加者に配布するためのテキストの作成を行った。内容は扱う素材の歴史や技法等図版を交えて、事後の参考資料となるよう作成した。夏期の柿渋に於いては、柿渋を制作に使用する会員はいるものの、分野として主役になる素材ではないため、柿渋・カキタンニン研究会の協力を得た。事業実施後も親子の話題を継続させるツールとして有効であった。また、こうした資料の蓄積は当協会の貴重な資料となっていく。今後も継続する方針である。

- ・参加者募集については、今年度、特に冬期ワークショップに於いては、予定を大幅に上回る結果となった。冬期は「お箸」がテーマであったことから、より親近感を感じた可能性がある。組み数は予定を少しオーバーする程度であったが、親子3人、あるいは家族4人等での申込が多かった。今後、より身近で親しみを感じ、且つ、改めて見直したい「くらしの文化」も視野にプログラム作成することも検討項目に入れる。

以下、各項目の担当理事からの報告と評価委員の意見等

●事業実施の準備体制について

- ・実行の準備と実施については会員による実行委員会を組織し行った
- ・委員会は計5回開催し、テーマの設定から具体的準備まで詳細を詰めることができた
～個々のプログラムの具体的な準備は適格に進められた。委員会以外の会員による素材提供等の協力も大きく、この事業の意義を協会員皆が認識することで、今後の可能性を広げることが出来ると感じる。

●告知・募集の方法について

- ・夏期は2017エコキッズ探検隊のプログラムとして開催し、先方の持っているネットワークに依るところが大きかった。冬期は募集チラシを作成、HPやメールマガジン、フェイスブックで広報を行った。また、エコキッズのメールマガジンでも周知をしてくださり参加者募集の大きな力となった。継続して実施していることにより、楽しみにしてくれる参加者も出てくるようになっている。引き続き継続の方向で進めたい。

●実施内容について

- ・夏期は伊勢形紙伝統工芸士の方に、繊細な形紙を見せていただき、また、実演お願いした。柿渋の用途の一つである伊勢形紙を直に見ることが出来たことはとても良かった。また柿渋の工程についてもレクチャーし、実施では無臭柿渋を使用した。本来の柿渋も希望者には少しだけ臭いを体験してもらった。
冬期はお箸の歴史やマナーについてレクチャーいただいた。制作では、木の天然の色を生かす趣旨であったことから、仕上げの塗装もウレタン等でなく、クルミの油脂分をすりこむ方法を採用した。
- ・全体の時間配分は概ね良かった。

●今後の展開について

- ・今後も素材、手法を変えて多彩なクラフトデザインの魅力を発信していくことが望ましい。また同素材でも工法等の違いを活かし様々な展開が可能である。
- ・現在のレクチャー+ワークショップというスタイルは、この事業の立ち上げから続いている。レクチャー内容を工夫してはいるが、今後実施体裁の根本的な検証も含めて

行ってみると良い。

- ・何を伝えるか、よりも何を感じてもらおうか、参加者、特に子ども達が考えて、その後に発展できるようなプログラム作成を今後、さらに検討してほしい。
- ・会場の都合により、火器や音等の制限があり、ガラスや金属等はなかなかテーマにしにくい現状がある。工夫を重ね、先々はこうした素材も伝えていく方が良い

●その他

- ・アンケート等によると参加者の満足度は高く、目標値には僅かに達しなかったものの本事業を通じてクラフトに親しみ、またそれをきっかけに親子の対話を深めていく目的は達成されたものとする。
- ・第 57 回日本クラフト展会場での広報展示は、会期中 9000 人を超える入場者にこの事業の内容と意義を伝えることができた。
- ・今年度は、柿渋・カキタンニン研究会の協力をお願いした縁で、先方が主催する講演会と展示会の会場に協会の広報展示ブースを設けることが出来た。関西での実施であり、東京中心に活動しているこの事業の意義を伝えることができた意味は大きい。今後、ワークショップの実施等も含め、こうした広報活動も視野に入れ積極的に取り組む必要がある。
- ・参加者の多くは初めての参加であるが、複数回参加している方も少なくない。今後、こうした方々への本事業の調査等を何等かの形で行うようにする。

以上

親子ふれあいワークショップ

2018年1月13日

「けずってみがいて マイおはし」 アンケート

<回答者数>

保護者	46
子供	39
	85名

1. 何年生ですか？

4～6才	0
小学1年生	8
小学2年生	8
小学3年生	10
小学4年生	6
小学5年生	3
小学6年生	2
中学1年	1
中学2年	1
	39名

2. このワークショップに参加したきっかけは何ですか？

<子供> <大人>

学校からチラシをもらった	2	8
友達に参加していたから	2	2
ミッドタウンからのお知らせを見た	0	4
協会のHPを見て興味があったので	1	1
協会から送られてきた案内やポスター	3	8
前回も参加してとても良かったので	5	10
親や家族にすすめられたので	15	7
親子で工作をしたかったので	7	4
未記入	4	2
	39	46

3. ワークショップを受けて楽しかったり、役に立つと思ったことはどんなところですか？

<子供> <大人>

楽しかった	7	13
お箸の使い方が勉強になった	7	9
ヤスリの使い方が勉強になった	1	2
削るのが楽しかった	8	0
くるみで磨くのが楽しかった	4	7
自分のお箸ができて良かった	8	0
材料が安全でいいと思った	0	3
木について勉強できた	0	3
自分で作ることが意義があると思う	0	6
作業がたいへんだった	3	0
未記入	1	3
	39	46名

4. 親子ワークショップに参加した回数

<子供> <大人>

はじめて	24	31
2回目	9	8
3回目	2	3
4回目	3	3
5回以上	1	1
	39	46

5. 次回も参加したいですか？

<子供> <大人>

ぜひ参加したい	18	33
参加したい	16	11
参加したくない(手が疲れたから)	1	0
何を作るかによる	1	1
未記入	3	1
	39	46

6. (お子様へ) 今日の事を誰かと話しますか?

はい 31名

お父さん・お母さん	15
祖父母	3
兄弟・姉妹	3
家族	8
友達	13
学校の先生	5
	47名(複数回答)

7. (保護者の方へ)今日のワークショップについて今後、どのようにお子さんとお話をしてみたいですか?

毎日使うものが、自分で作ってみると大変だということが分かったと思う
 使い捨てのものが多い中、大切に使うことを考え
 道具の使い方や おはしの作法について
 モノを大切にすることや 箸使いのマナーに
 日本の文化について
 箸の種類・マナー・デザインなどを思い出しながらみたい
 自分で作ったお箸を使って食事しながらお箸の話をしたい
 木の違いについて
 市販のお箸に比べてどうか等
 素材の良さを理解してもらい、自然を大切にすることを話したい
 モノがどうやって作られているのかを今後話す良いきっかけになった
 モノを作る楽しさについて話したい(3件)

8. これから体験してみたいことはありますか?

<子供>	<大人>
箸置きを作りたい(6件)	箸置き作り(4件)
たこつくり	お椀作り
竹かごあみ	木のお皿作り
帽子作り	折り紙
木の人形	寄木細工(2件)
おもちゃ作り	染め物
ブローチを作りたい	水引き
墨流し	糸・布を使ったモノ
バッグ作り	木工
はにわ	裁縫(2件)
お皿を作ってみたい	陶芸(6件)
イス作り	織・こぎん刺し・刺繍
ものを入れるもの等 役に立つものを作りたい	編み物・毛糸を使ったもの(2件)
クロスステッチ	彫金やジュエリー
陶芸 彫刻 ガラスを使ったものなど	コップ作り
消しゴム作り	紙漉き

9. 今日の感想などご記入ください

<子供>
 けづることがたのしかったです(5件)
 けっこうむずかしかった(3件)
 箸に模様をつけるやり方が分かって役に立った
 はしの かどを丸くするのに手がかかれてしまいました
 もっと難しいことも体験したい
 手が痛くなったけどおもしろかった
 作ったおはしを大切に使いたい(2件)
 たのしかったです(8件)

<大人>

その道のプロから丁寧に指導してもらえてとても楽しかった(4件)

先生やスタッフの方が大勢で見てくれて想像以上に素敵な作品となりました
フォローが手厚くて助かった

いつも素敵な作品ができるので 次の機会にもまた参加したい

子どもと共に有意義なことができ、家ではできない体験が楽しめた(2件)

短時間でコンパクトにまとまり、しっかり作品に仕上げられる準備ができていて良かった

くすみから こんなに油が出ると思わなかったのでビックリした

身近なものを手作りできてよかった 満足いくできた(2件)

実用的なものだったので、作りっぱなしにならなくてよい

身近な道具でも自分で作るのは大変だと改めて感じた

親も作ることができてうれしかった

モノを作ることは得意ではなかったが夢中で取り組めた(2件)

性格が出るので人によって全く違う作品が出来あがって面白いと思った

とても楽しかった(5件)

ヒノキの香りがとても良かった

先生やスタッフの方の温かい雰囲気やまなざしが印象的でした

子どもにも使いやすい小さなヤスリでの作業で良かった

やってみると意外と大変な作業でした

模様作りが大変でした

箸は削る部分が小さいので、もう少し面積のあるものだと分かりやすかった